

△3) 脊髄空洞症を概説できる。

△4) 二分脊椎症を概説できる。

(3) 皮膚系疾患

	卒前実習		卒後研修
	MCC	研究班案	研究班案
① 湿疹・皮膚炎群(接触皮膚炎、アトピー性皮膚炎)		○	◎
② 蕁麻疹		○	◎
③ 薬疹		○	◎
④ 皮膚感染症		○	◎

医学教育モデル・コア・カリキュラムにおける項目(項目番号)

C 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療 3 皮膚系

一般目標: 皮膚の構造と機能を理解し、主な皮膚疾患の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。

(1) 構造と機能

到達目標:

(身体診察はE3参照)

- 1) 皮膚の組織構造を図示して説明できる。
- 2) 皮膚の細胞動態と角化、メラニン形成の機構を説明できる。
- 3) 皮膚の免疫防御能を説明できる。
- 4) 皮脂分泌・発汗・経皮吸収を説明できる。

(2) 診断と検査の基本

到達目標:

(身体診察はE3参照)

- 1) 皮膚検査法(硝子圧法、皮膚描記法、ニコルスキー現象、ツアング試験、皮膚温測定法、発汗検査法、皮脂測定法、光線テスト)を概説できる。
- 2) 皮膚アレルギー検査法(ブリックテスト、皮内テスト、パッチテスト)を説明できる。
- 3) 微生物検査法(検体採取法、KOH 直接鏡顕法、細菌・真菌培養法、スピロヘータ検出法)を概説できる。

(3) 症候

(【発疹】E1参照)

(4) 疾患

①湿疹・皮膚炎群

到達目標:

- 1) 湿疹反応を説明できる。
- 2) 湿疹・皮膚炎群の疾患(接触皮膚炎、アトピー性皮膚炎、脂漏性皮膚炎、貨幣状皮膚炎、皮脂欠乏性湿疹、自家感作性皮膚炎)を列挙し、概説できる。

②じんま疹、紅斑症、紅皮症と皮膚掻痒症

到達目標:

- 1) じんま疹の病態、診断と治療を説明できる。
- 2) 多形滲出性紅斑、環状紅斑と紅皮症の病因と病態を説明できる。
- 3) 皮膚掻痒症の病因と病態を説明できる。

③紫斑・血流障害と血管炎

到達目標:

- 1) 皮膚血流障害と血管炎の病因、症候と病態を説明できる。

④薬疹・薬物障害

到達目標:

- 1) 薬疹や薬物障害の発生機序、症候と治療を説明できる。
- △2) 薬疹を起こしやすい主な薬物を列挙できる。

⑤水疱症と膿疱症

到達目標:

- 1) 自己免疫性水疱症の病因、病態と分類を説明できる。
- 2) 膿疱症の種類と病態を説明できる。
- △3) 水疱症鑑別のための検査法を説明できる。
- △4) 先天性表皮水疱症の種類と病態を説明できる。

⑥乾癬と角化症

到達目標:

- 1) 尋常性乾癬、扁平苔癬とジベルばら色靴擦疹の病態、症候と治療を説明できる。

⑦母斑、腫瘍と色素異常

到達目標:

- 1) 母斑・母斑症の種類を列挙できる。
- 2) 悪性黒色腫の症候と対応の仕方を説明できる。

3) 白斑の種類と病態を説明できる。

△4) 皮膚良性腫瘍、前癌状態と悪性腫瘍の種類と見分け方を説明できる。

△5) 皮膚悪性リンパ腫、血管肉腫と組織球症を説明できる。

⑧皮膚感染症

到達目標:

1) 皮膚細菌感染症(伝染性膿痂疹、せつ、よう、毛囊炎、丹毒、ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群)を列挙し、概説できる。

2) 皮膚表在性と深在性真菌症の症候と病型を説明できる。

△3) 皮膚結核、ハンセン病の症候、病型と病因菌を説明できる。

△4) 梅毒の症候、病期と合併症を説明できる。

⑨全身疾患

到達目標:

△1) 全身性疾患(代謝異常、悪性腫瘍)の皮膚症状を列挙できる。

(4)運動器(筋骨格)系疾患

	卒前実習		卒後研修
	MCC	研究班案	研究班案
①骨折		○	◎
②関節・靭帯の損傷及び障害		○	◎
③骨粗鬆症		○	◎
④脊柱障害(腰椎椎間板ヘルニア)		○	◎

医学教育モデル・コア・カリキュラムにおける項目(項目番号)

C 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療 4 運動器(筋骨格)系

一般目標:運動器系の正常構造と機能を理解し、主な運動器疾患の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。

(1)構造と機能

到達目標:

1) 骨・軟骨・関節・靭帯の構造と機能を説明できる。

2) 頭部・顔面の骨の構成を説明できる。

3) 四肢の骨・関節を列挙し、主な骨の配置を図示できる。

4) 椎骨の構造と脊柱の構成を説明できる。

5) 四肢の主要筋群の運動と神経支配を説明できる。

- 6) 骨盤の構成と性差を説明できる。
- 7) 骨の成長と骨形成・吸収の機序を説明できる。
- △8) 姿勢と体幹の運動にかかわる筋群を概説できる。
- △9) 抗重力筋を説明できる。

(2) 診断と検査の基本

到達目標:

(身体診察はE3参照)

- 1) 徒手検査(関節可動域検査、徒手筋力検査)と知覚検査を説明できる。
- 2) 筋骨格系画像診断法(エックス線、MRI、脊髓造影、骨塩定量)の適応を概説できる。
- △3) 筋骨格系の生理学的検査の種類と適応を概説できる。
- △4) 関節鏡検査を概説できる。

(3) 症候

(【腰部痛】【関節痛・関節腫脹】【運動麻痺・筋力低下】はE1参照)

① 動揺

到達目標:

- 1) 関節動揺を概説できる。

(4) 疾患

到達目標:

- 1) 骨折の分類(単純と複雑)、症候、診断、治療と合併症を説明できる。
- 2) 骨粗鬆症の病因と病態を説明し、骨折の好発部位を列挙できる。
- 3) 関節の脱臼、亜脱臼、捻挫、靭帯損傷の定義、重症度分類、診断と治療を説明できる。
- 4) 変形性関節症を列挙し、症候と治療を説明できる。
- 5) 関節炎の病因と治療を説明できる。
- 6) 骨肉腫とユーイング肉腫の診断と治療を説明できる。
- 7) 腰椎椎間板ヘルニアの診断と治療を説明できる。
- 8) 脊髓損傷の診断、治療とリハビリテーションを説明できる。
- 9) 絞扼性神経障害を列挙し、その症候を説明できる。
- △10) 頸椎症性脊髄症(脊柱靭帯骨化症を含む)の神経症候を説明できる。
- △11) 腰部脊柱管狭窄症の症候と治療を説明できる。
- △12) 腰椎分離・すべり症の症候と治療を説明できる。
- △13) 転移性脊椎腫瘍の好発部位と診断を説明できる。
- △14) 四肢の基本的固定法を説明できる。
- △15) 骨形成不全症と骨軟骨異形成症を概説できる。

△16)コンパートメント症候群を概説できる。

△17)骨・関節疾患のリハビリテーションを概説できる。

(5)循環器系疾患

	卒前実習		卒後研修
	MCC	研究班案	研究班案
①心不全	△	○	◎
②狭心症、心筋梗塞	△	○	◎
③心筋症			○
④不整脈(主要な頻脈性、徐脈性不整脈)	△	○	◎
⑤弁膜症(僧帽弁膜症、大動脈弁膜症)		○	◎
⑥動脈疾患(動脈硬化症、大動脈瘤)		○	◎
⑦静脈・リンパ管疾患(深部静脈血栓症、下肢静脈瘤、リンパ浮腫)		○	◎
⑧高血圧症(本態性、二次性高血圧症)	△	○	◎

医学教育モデル・コア・カリキュラムにおける項目(項目番号)

C 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療 5 循環器系

一般目標:循環器系の構造と機能を理解し、主な循環器疾患の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。

(1)構造と機能

到達目標:

- 1)心臓の構造と分布する血管・神経を説明できる。
- 2)心筋細胞の微細構造と機能を説明できる。
- 3)心筋細胞の電気現象と心臓の興奮(刺激)伝導系を説明できる。
- 4)興奮収縮連関を概説できる。
- 5)体循環、肺循環と胎児循環を説明できる。
- 6)大動脈の枝を図示し、分布域を概説できる。
- 7)頭頸部と四肢の主な動脈を図示し、分布域を概説できる。
- 8)主な静脈を図示し、門脈系と大静脈系の吻合部を説明できる。
- 9)毛細血管における物質・水分交換を説明できる。
- 10)胸管を経由するリンパの流れを概説できる。
- 11)心周期にともなう血行動態を説明できる。
- 12)心機能曲線と心拍出量の調節機序を説明できる。
- 13)主な臓器(脳、心、肺)の循環調節を概説できる。
- 14)血圧調節の機序を説明できる。

△15)血流の局所調節の機序を概説できる。

△16)運動時の循環反応とその機序を説明できる。

(2)診断と検査の基本

到達目標:

(検査はE2、身体診察はE3参照)

1)胸部エックス線写真と断層心エコー図から心臓・大血管の画像診断を説明できる。

△2)心カテーテル検査(心内圧、心機能、シャント率の測定)と結果の解釈を説明できる。

(3)症候

(【チアノーゼ】【胸痛】【呼吸困難】【ショック】【動悸】【浮腫】【意識障害・失神】はE1参照)

(4)疾患

①心不全

到達目標:

1)心不全の定義と重症度分類を説明できる。

2)心不全の原因疾患と病態生理を説明できる。

3)左心不全と右心不全の診断を説明し、治療を概説できる。

4)急性心不全と慢性心不全の診断を説明し、治療を概説できる。

②虚血性心疾患

到達目標:

1)安定狭心症(労作性、冠攣縮性)の病態生理、症候と診断を説明し、治療を概説できる。

2)急性冠症候群(急性心筋梗塞、不安定狭心症)の病態生理、症候と診断を説明し、治療を概説できる。

③不整脈

到達目標:

1)主な頻脈性不整脈(期外収縮、WPW症候群、発作性頻拍)の心電図上の特徴を説明できる。

2)主な徐脈性不整脈(洞不全症候群、房室ブロック)の心電図上の特徴を説明できる。

3)致死的不整脈の心電図上の特徴を説明できる。

4)不整脈の治療(抗不整脈薬、電気的除細動、ペースメーカー療法)を概説できる。

④弁膜症

到達目標:

1)主な弁膜症(僧帽弁疾患、大動脈弁疾患)の病因、病態生理、症候と診断を説明し、治療を概説できる。

2)感染性心内膜炎の病因、症候と診断を説明し、治療を概説できる。

⑤心筋・心膜疾患

到達目標:

- 1) 特発性心筋症と二次性心筋疾患の定義・概念と病態生理を説明できる。
- △2) 心筋炎の病因と症候を説明できる。
- △3) 急性心膜炎の症候を説明できる。
- △4) 心タンポナーデの病因と診断を説明し、治療を概説できる。

⑥先天性心疾患

到達目標:

- 1) 主な先天性心疾患(心房中隔欠損、心室中隔欠損、動脈管開存、ファロー四徴)の病態生理、症候と診断を説明し、治療を概説できる。

⑦動脈疾患

到達目標:

- 1) 動脈硬化症の危険因子、病態生理と合併症を説明できる。
- 2) 大動脈解離と大動脈瘤を概説できる。
- 3) 閉塞性動脈硬化症とパージャール病を概説できる。
- △4) 大動脈炎症候群を概説できる。

⑧静脈・リンパ管疾患

到達目標:

- 1) 深部静脈血栓症の病因と症候を説明し、治療を概説できる。
- △2) 上大静脈症候群の病因と症候を説明できる。
- △3) 下肢静脈瘤を概説できる。
- △4) リンパ浮腫の病因を列挙できる。

⑨高血圧症

到達目標:

- 1) 本態性高血圧症の疫学、診断、合併症と予後を説明し、治療を概説できる。
- 2) 二次性高血圧症の病因を列挙し、診断を説明し、治療を概説できる。

(6)呼吸器系疾患

	卒前実習		卒後研修
	MCC	研究班案	研究班案
①呼吸不全	△	○	◎
②呼吸器感染症(急性上気道炎、気管支炎、肺炎)	△	○	◎
③閉塞性・拘束性肺疾患(気管支喘息、気管支拡張症)	△	○	◎
④肺循環障害(肺塞栓・肺梗塞)		○	◎
⑤異常呼吸(過換気症候群)		○	◎
⑥胸膜、縦隔、横隔膜疾患(自然気胸、胸膜炎)	△	○	◎
⑦肺癌	△	○	◎

医学教育モデル・コア・カリキュラムにおける項目(項目番号)

C 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療 6 呼吸器系

一般目標:呼吸器系の構造と機能を理解し、主な呼吸器疾患の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。

(1)構造と機能

到達目標:

- 1) 気道の構造、肺葉・肺区域と肺門の構造を説明できる。
- 2) 肺循環の特徴を説明できる。
- 3) 縦隔と胸膜腔の構造を説明できる。
- 4) 呼吸筋と呼吸運動の機序を説明できる。
- 5) 肺気量と肺・胸郭系の圧・容量関係(コンプライアンス)を説明できる。
- 6) 肺胞におけるガス交換と血流の関係を説明できる。
- 7) 肺の換気と(換気血流比)が動脈血ガスにおよぼす影響を説明できる。
- 8) 呼吸中枢を介する呼吸調節の機序を説明できる。
- 9) 血液による酸素と二酸化炭素の運搬の仕組みを説明できる。
- 10) 気道と肺の防御機構(免疫学的・非免疫学的)と代謝機能を説明できる。

(2)診断と検査の基本

到達目標:

(検査はE2、身体診察はE3参照)

- 1) 呼吸器系の画像検査(エックス線、CT、MRI、核医学検査)の意義を説明できる。
- 2) 気管支鏡検査の意義を説明できる。
- 3) 喀痰検査の意義を説明できる。

(3) 症候

(【チアノーゼ】【胸水】【胸痛】【呼吸困難】【咳・痰】【血痰・咯血】はE1 参照)

① 喘鳴

到達目標:

- 1) 喘鳴の発生機序と原因疾患を説明できる。

(4) 疾患

① 呼吸不全、低酸素(血)症と高二酸化炭素(血)症

到達目標:

- 1) 呼吸不全の定義、分類、病態生理と主な病因を説明できる。
- 2) 低酸素(血)症と高二酸化炭素(血)症の病因、分類と診断を説明し、治療を概説できる。

② 呼吸器感染症

到達目標:

- 1) 急性上気道感染症(かぜ症候群)の病因、診断と治療を説明できる。
 - 2) 気管支炎・肺炎の主な病原体を列挙し、症候、診断と治療を説明できる。
 - 3) 肺結核症の症候、診断、治療と届出手続きを説明できる。
- △4) 非結核性(非定型)抗酸菌症を概説できる。
- △5) 嚥下性肺炎の発生機序とその予防法を説明できる。
- △6) クループの病因、診断と治療を説明できる。
- △7) 肺化膿症と膿胸を概説できる。

③ 閉塞性・拘束性障害をきたす肺疾患

到達目標:

- 1) 慢性閉塞性呼吸機能障害の病因を列挙できる。
 - 2) 慢性気管支炎の定義、診断と治療を説明できる。
 - 3) 肺気腫の病因、診断と治療を説明できる。
 - 4) 気管支喘息の病態生理、診断と治療を説明できる。
 - 5) 小児期の気管支喘息の特徴を説明できる。
 - 6) 間質性肺炎の病態、診断と治療を説明できる。
- △7) びまん性汎細気管支炎を概説できる。
- △8) 放射線肺臓炎を概説できる。
- △9) じん肺と石綿肺を概説できる。

④肺循環障害

到達目標:

- 1) 肺性心の病因、診断と治療を説明できる。
- 2) 急性呼吸促進症候群 (ARDS) の病因、症候と治療を説明できる。
- 3) 肺血栓・塞栓症の病因、診断と治療を説明できる。
- △4) 肺高血圧症を概説できる。

⑤免疫学的機序による肺疾患

到達目標:

- 1) 過敏性肺(臓)炎の病因、症候と診断を説明できる。
- 2) サルコイドーシスの症候、診断と治療を説明できる。
- △3) 好酸球性肺疾患を概説できる。

⑥肺癌

到達目標:

- 1) 原発性肺癌の分類、症候、診断と治療を説明できる。
- 2) 転移性肺腫瘍の診断と治療を説明できる。

⑦異常呼吸

到達目標:

- 1) 過換気症候群を概説できる。
- △2) 睡眠時無呼吸症候群を概説できる。

⑧気管支拡張症とその他の肺疾患

到達目標:

- 1) 気管支拡張症の症候、診断と治療を説明できる。
- 2) 無気肺の病因と診断を説明できる。
- 3) 新生児呼吸促進症候群の症候、病態、診断と治療を説明できる。

⑨胸膜・縦隔疾患

到達目標:

- 1) 胸膜炎の病因、症候、診断と治療を説明できる。
- 2) 気胸の病因、症候、診断と治療を説明できる。
- 3) 縦隔腫瘍の種類を列挙し、診断と治療を説明できる。
- △4) 縦隔気腫の病因、症候と診断を説明できる。
- △5) 胸膜生検の適応を説明できる。
- △6) 胸膜中皮腫を概説できる。

(7) 消化器系疾患

	卒前実習		卒後研修
	MCC	研究班案	研究班案
①食道・胃・十二指腸疾患(食道静脈瘤、胃癌、消化性潰瘍、胃・十二指腸炎)	△	○	◎
②小腸・大腸疾患(イレウス、急性虫垂炎、痔核・痔瘻)	△	○	◎
③胆嚢・胆管疾患(胆石、胆嚢炎、胆管炎)	△	○	◎
④肝疾患(ウイルス性肝炎、急性・慢性肝炎、肝硬変、肝癌、アルコール性肝障害、薬物性肝障害)	△	○	◎
⑤膵臓疾患(急性・慢性膵炎)		○	◎
⑥横隔膜・腹壁・腹膜(腹膜炎、急性腹症、ヘルニア)	△	○	◎

医学教育モデル・コア・カリキュラムにおける項目(項目番号)

C 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療 7 消化器系

一般目標: 消化器系の正常構造と機能を理解し、主な消化器系疾患の病態生理、病因、症候、診断と治療を学ぶ。

(1) 構造と機能

到達目標:

- 1) 各消化器官の位置、形態と血管分布を図示できる。
- 2) 腹膜と臓器の関係を説明できる。
- 3) 食道・胃・小腸・大腸の基本構造と部位による違いを説明できる。
- 4) 消化管運動の仕組みを説明できる。
- 5) 消化器官に対する自律神経の作用を説明できる。
- 6) 肝の構造と機能を説明できる。
- 7) 胃液の作用と分泌機序を説明できる。
- 8) 胆汁の作用と胆嚢収縮の調節機序を説明できる。
- 9) 膵外分泌系の構造と膵液の作用を説明できる。
- 10) 小腸における消化・吸収を説明できる。
- 11) 大腸における糞便形成と排便の仕組みを説明できる。
- 12) 主な消化管ホルモンの作用を説明できる。
- 13) 歯、舌、唾液腺の構造と機能を説明できる。
- △14) 咀嚼と嚥下の機構を説明できる。
- △15) 消化管の正常細菌叢の役割を説明できる。

(2) 診断と検査の基本

到達目標:

(検査はE2、身体診察はE3参照)

- 1) 代表的な肝炎ウイルス検査の検査項目を列挙し、その意義を説明できる。
- 2) 消化器関連の代表的な腫瘍マーカー(AFP、CEA、CA19-9)の意義を説明できる。
- 3) 消化器系疾患の画像検査を列挙し、検査から得られる情報を説明できる。
- 4) 消化器内視鏡検査から得られる情報を説明できる。
- 5) 生検と細胞診の意義と適応を説明できる。

(3) 症候

【便秘・下痢】【吐血・下血】【悪心・嘔吐】【食思(欲)不振】【黄疸】【腹痛】【腹部膨隆(腹水を含む)・腫瘍】はE1参照)

①肝腫大

到達目標:

- 1) 肝腫大をきたす疾患を列挙し、その病態生理を説明できる。
- △2) 肝腫大のある患者における医療面接、診察と診断の要点を説明できる。

(4) 疾患

①食道疾患

到達目標:

- 1) 食道癌の病理、肉眼分類と進行度分類を説明できる。
 - 2) 食道癌の症候、診断、治療と予後を説明できる。
 - 3) 食道静脈瘤の病態生理、内視鏡分類と治療を説明できる。
 - 4) 胃食道逆流症の病態生理、症候と診断を説明できる。
- △5) 逆流性食道炎を概説できる。
- △6) マロリー・ワイス症候群を概説できる。

②胃・十二指腸疾患

到達目標:

- 1) 胃癌の疫学、病理、症候、肉眼分類と進行度分類を説明できる。
 - 2) 胃癌の診断法を列挙し、所見とその意義を説明できる。
 - 3) 胃癌の進行度に応じた治療を概説できる。
 - 4) 消化性潰瘍の病因、症候、ステージ分類、診断と治療を説明できる。
 - 5) ヘリコバクター・ピロリ感染症の診断と治療を説明できる。
 - 6) 胃ポリープの病理と肉眼分類を説明できる。
- △7) 急性胃粘膜病変の概念、診断と治療を説明できる。

- △8)慢性胃炎を概説できる。
- △9)胃切除後症候群の病態生理を説明できる。
- △10)肥厚性幽門狭窄症を概説できる。

③小腸・大腸疾患

到達目標:

- 1)大腸癌の病理と分類(肉眼、進行度、病期)を説明できる。
 - 2)大腸癌の症候、診断と治療を説明できる。
 - 3)大腸ポリープの分類、症候、診断と治療を説明できる。
 - 4)急性虫垂炎の症候、診断と治療を説明できる。
 - 5)腸閉塞(イレウス)の病因、症候、診断と治療を説明できる。
 - 6)炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎・クローン病)の病態、症候、診断と治療を説明できる。
 - 7)痔核と痔瘻の病態、症候と診断を説明できる。
 - 8)過敏性腸症候群を概説できる。
- △ 9)腸管憩室を概説できる。
 - △ 10)薬剤性大腸炎を概説できる。
 - △11)消化管ポリポースを概説できる。
 - △12)大腸の主な先天性疾患(鎖肛、ヒルシュスプルング病)を概説できる。
 - △13)腸重積症を概説できる。
 - △14)消化管カルチノイドを概説できる。

④胆道疾患

到達目標:

- 1)胆石症の病因、症候、診断と治療を説明できる。
 - 2)胆嚢炎と胆管炎の病因、病態、症候、診断、合併症と治療を説明できる。
 - 3)胆嚢・胆管癌の病理、症候、診断と治療を説明できる。
- △4)胆嚢ポリープを概説できる。
 - △5)先天性胆道拡張症と膵・胆管合流異常症を概説できる。

⑤肝疾患

到達目標:

- 1)A型・B型・C型肝炎の疫学、症候、診断、治療、経過と予後を説明できる。
- 2)急性肝炎、劇症肝炎と慢性肝炎の定義を説明できる。
- 3)肝硬変の病因、病理、症候、診断と治療を説明できる。
- 4)肝硬変の合併症(門脈圧亢進症と肝性脳症)を概説できる。
- 5)原発性肝癌の病因、病理、症候、診断と治療を説明できる。
- 6)アルコール性肝障害を概説できる。

△7)薬物性肝障害を概説できる。

△8)肝腫瘍の症候、診断と治療を説明できる。

⑥膵臓疾患

到達目標:

1)急性膵炎(アルコール性、胆石性、特発性)の病態生理、症候、診断と治療を説明できる。

2)慢性膵炎(アルコール性、特発性)の病態生理、症候、診断、合併症と治療を説明できる。

3)膵癌の病理、症候と診断を説明できる。

△4)重症急性膵炎の病態生理、診断基準と治療を説明できる。

△5)嚢胞性膵疾患の分類と病理を説明できる。

⑦腹膜・腹壁・横隔膜疾患

到達目標:

1)腹膜炎の病因、症候、診断と治療を説明できる。

2)ヘルニアの概念(滑脱、嵌頓、絞扼性)と好発部位を説明できる。

3)鼠径ヘルニアの病因、診断と治療を説明できる。

(8)腎・尿路系(体液・電解質バランスを含む。)疾患

	卒前実習		卒後研修
	MCC	研究班案	研究班案
①腎不全(急性・慢性腎不全、透析)	△	○	◎
②原発性糸球体疾患(急性・慢性糸球体腎炎症候群、ネフローゼ症候群)		○	◎
③全身性疾患による腎障害(糖尿病性腎症)		○	◎
④泌尿器科的腎・尿路疾患(尿路結石、尿路感染症)	△	○	◎

医学教育モデル・コア・カリキュラムにおける項目(項目番号)

C 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療 8 腎・尿路系(体液・電解質バランスを含む)

一般目標:腎・尿路系の構造と機能を理解し、主な腎・尿路系疾患の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。

(1)構造と機能

到達目標:

1)体液の量と組成・浸透圧を小児と成人を区別して説明できる。

2)腎・尿路系の位置・形態と血管分布・神経支配を説明できる。

3)腎の機能の全体像やネフロン各部の構造と機能を概説できる。

- 4) 腎糸球体における濾過の機序を説明できる。
- 5) 尿細管各部における再吸収・分泌機構と尿の濃縮機序を説明できる。
- 6) 水電解質・酸塩基平衡の調節機構を概説できる。
- 7) 腎に作用するホルモン・血管作働性物質の作用を説明できる。
- 8) 蓄排尿の機序を説明できる。

(2) 診断と検査の基本

到達目標:

(身体診察はE3参照)

- 1) 腎・尿路系の画像診断を概説できる。
 - 2) 糸球体濾過量を測定する方法を概説できる。
- △3) 腎生検の適応と禁忌を説明できる。
△4) 尿流動態検査を説明できる。

(3) 症候

(【浮腫】【タンパク尿】【血尿】【尿量・排尿の異常】【脱水】はE1参照)

①電解質代謝異常

到達目標:

- 1) 高・低ナトリウム血症を概説できる。
 - 2) 高・低カリウム血症を概説できる。
 - 3) 高・低カルシウム血症を概説できる。
- △4) 高・低リン血症と高・低クロール血症を概説できる。

②アシドーシス・アルカローシス

到達目標:

- 1) アシドーシス・アルカローシスの定義、病態生理と診断を説明できる。
- △2) アシドーシス・アルカローシスの治療を概説できる。

(4) 疾患

①腎不全

到達目標:

- 1) 急性腎不全の病因、症候、診断と治療を説明できる。
 - 2) 慢性腎不全の病因、症候、診断と治療を概説できる。
- △3) 慢性腎不全の治療(透析・腎移植)を説明できる。

②原発性糸球体疾患

到達目標:

- 1)急性糸球体腎炎症候群の病因、症候、診断と治療を説明できる。
- 2)慢性糸球体腎炎症候群(IgA腎症を含む)の症候、診断と治療を説明できる。
- 3)ネフローゼ症候群の分類、症候、診断と治療を説明できる。
- △4)急速進行性糸球体腎炎症候群を概説できる。

③腎血管障害

到達目標:

- 1)腎血管性高血圧症を概説できる。

④尿細管機能異常

到達目標:

- 1)尿細管性アシドーシスの分類、病態生理、診断と治療を説明できる。
- △2)ファンコーニ症候群(腎性糖尿を含む)の概念、症候と診断を説明できる。

⑤間質性腎疾患

到達目標:

- 1)急性・慢性腎盂腎炎の病因、症候、診断と治療を説明できる。
- 2)急性・慢性間質性腎炎の病因、症候、診断と治療を説明できる。

⑥全身性疾患による腎障害

到達目標:

- 1)糖尿病性腎症の症候、診断と治療を説明できる。
- △2)ループス腎炎の症候、診断と治療を説明できる。
- △3)アミロイド腎症の症候、診断と治療を説明できる。
- △4)膠原病類縁疾患(血管炎症候群、グッドパスチャー症候群)の腎病変を説明できる。
- △5)紫斑病性腎炎を概説できる。

⑦先天異常、腫瘍と外傷

到達目標:

- 1)腎尿路の主な先天異常(多発性嚢胞腎、膀胱尿管逆流症)を概説できる。
- 2)腎癌・膀胱癌の症候、診断と治療を説明できる。
- △3)腎外傷の症候、診断と治療を説明できる。

⑧尿路疾患

到達目標:

- 1) 尿路結石の病因、症候、診断と治療を説明できる。
- △ 2) 尿路の炎症(膀胱炎・前立腺炎・尿道炎)の病因、診断と治療を説明できる。
- △ 3) 神経因性膀胱を概説できる。

(9) 妊娠分娩と生殖器疾患

	卒前実習		卒後研修
	MCC	研究班案	研究班案
①妊娠分娩(正常妊娠、流産、早産、正常分娩、産科出血、乳腺炎、産褥)	△	○	◎
②女性生殖器及びその関連疾患(月経異常(無月経を含む)、不正性器出血、更年期障害、外陰・陰・骨盤内感染症、骨盤内腫瘍、乳腺腫瘍)	△	○	◎
③男性生殖器疾患(前立腺疾患、勃起障害、精巣腫瘍)	△	○	◎

医学教育モデル・コア・カリキュラムにおける項目(項目番号)

C 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療 9 生殖機能

一般目標: 生殖系の構造と機能を理解し、生殖器に問題を有する患者の診断と治療に関する知識を学ぶ。

(1) 構造と機能

到達目標:

- 1) 生殖腺の発生と性分化の過程を説明できる。
- 2) 男性生殖器の発育の過程を説明できる。
- 3) 男性生殖器の形態と機能を説明できる。
- 4) 精巣の組織構造と精子形成の過程を説明できる。
- 5) 陰茎の組織構造と勃起・射精の機序を説明できる。
- 6) 女性生殖器の発育の過程を説明できる。
- 7) 女性生殖器の形態と機能を説明できる。
- 8) 性周期発現と排卵の機序を説明できる。

(2) 診断と検査の基本

①男性生殖器

到達目標:

(身体診察はE3参照)

1) 精巣と前立腺の検査法(尿道造影、超音波検査、CT、MRI)を説明し、結果を解釈できる。

②女性生殖器

到達目標:

- 1) 基礎体温の所見を説明できる。
- 2) 血中ホルモン(FSH、LH、プロラクチン、hCG、エストロゲン、プロゲステロン)測定値を評価できる。
- △3) 腔分泌物の所見を説明できる。
- △4) 子宮頸部・内膜の細胞診と組織診の所見を概説できる。
- △5) 腫瘍マーカーの測定値の意味を説明できる。
- △6) 骨盤内臓器と腫瘍の画像診断(超音波断層法、CT、MRI、子宮卵管造影)所見を概説できる。

(3) 症候

①男性生殖器

(【腹部膨隆(腹水を含む)・腫瘍】【腹痛】【血尿】【尿量・排尿の異常】はE1参照)

到達目標:

- 1) 勃起不全と射精障害を概説できる。
- 2) 精巣機能障害を概説できる。

②女性生殖器

(【月経異常】【腹部膨隆(腹水を含む)・腫瘍】【腹痛】【尿量・排尿の異常】【貧血】はE1参照)

到達目標:

- 1) 不正性器出血、乳汁漏出、腔分泌物(帯下)の増量、腔乾燥感、性交痛をきたす疾患を列挙し、その病態を説明できる。

(4) 疾患

①男性生殖器疾患

到達目標:

- 1) 男性不妊症を概説できる。
- 2) 前立腺肥大症の診断と治療を説明できる。
- 3) 前立腺癌の診断と治療を説明できる。
- 4) 精巣腫瘍を概説できる。
- △5) 陰嚢内腫瘍の診断を説明できる。
- △6) 停留精巣を概説できる。

②女性生殖器疾患

到達目標:

- 1) 内外生殖器の先天異常を説明できる。

- 2) 卵巣機能障害を概説できる。
- 3) 不妊症の系統診断と治療を説明できる。
- 4) 子宮筋腫・子宮腺筋症の症候、診断と治療を概説できる。
- 5) 子宮内膜症の症候、診断と治療を説明できる。
- 6) 子宮癌の症候、診断と治療を概説できる。
- 7) 卵巣腫瘍の分類と症候、診断と治療を概説できる。
- 8) 外陰、膣と骨盤内感染症の症候、診断と治療を説明できる。
- △9) 絨毛性疾患(胎状奇胎、絨毛癌)の診断、治療と管理を説明できる。

C 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療 10 妊娠と分娩

一般目標: 妊娠、分娩と産褥期の管理に必要な基礎知識とともに、母性保健、生殖医療のあり方を学ぶ。

(1) 診断と検査の基本

到達目標:

(身体診察はE3参照)

- 1) 妊娠の診断法を説明できる。
- 2) 妊娠に伴う身体的変化を概説できる。
- 3) 胎児・胎盤検査法(超音波検査法、分娩監視装置による)の意義を説明できる。
- △4) 羊水検査法の意義と異常所見を説明できる。

(2) 症候

(【悪心・嘔吐】【腹部膨隆(腹水を含む)・腫瘤】【浮腫】【腹痛】はE1参照)

(3) 正常妊娠・分娩・産褥

到達目標:

- 1) 妊娠・分娩・産褥での母体の解剖学的と生理学的変化を説明できる。
- 2) 胎児・胎盤系の発達過程での機能・形態的变化を説明できる。
- 3) 正常妊娠の経過を説明できる。
- 4) 正常分娩の経過を説明できる。
- 5) 産褥の過程を説明できる。
- △6) 母性保健の意義を医学的に説明できる。

(4) 疾患

到達目標:

- 1) 主な異常妊娠(流産、切迫流産、子宮外妊娠、妊娠高血圧症、多胎妊娠、骨盤位)の病態を説明できる。
- 2) 主な異常分娩(早産、微弱陣痛、遷延分娩、回旋異常、前置胎盤、常位胎盤早期剥離、弛緩出血、分娩損傷)の病態を説明できる。

- 3) 主な異常産褥(子宮復古不全、産褥熱、乳腺炎)の病態を説明できる。
- △4) 産科救急〔産科出血、播種性血管内凝固(症候群)〈DIC〉〕の病態と治療を説明できる。
- △5) 主な妊娠合併症(耐糖能異常、血小板減少症、甲状腺疾患)の病態を説明できる。
- (5) 産科手術
- 到達目標:
- 1) 人工妊娠中絶の適応を説明できる。
- 2) 帝王切開術の適応を説明できる。
- △3) 鉗子・吸引分娩術の適応を説明できる。
- △4) 骨盤位牽出術の方法と合併症を説明できる。
- △5) 産科麻酔の特徴を概説できる。

(10) 内分泌・栄養・代謝系疾患

	卒前実習		卒後研修
	MCC	研究班案	研究班案
① 視床下部・下垂体疾患(下垂体機能障害)			○
② 甲状腺疾患(甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症)	△	○	◎
③ 副腎不全			○
④ 糖代謝異常(糖尿病、糖尿病の合併症、低血糖)	△	○	◎
⑤ 高脂血症	△	○	◎
⑥ 蛋白及び核酸代謝異常(高尿酸血症)			○

医学教育モデル・コア・カリキュラムにおける項目(項目番号)

C 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療 12 内分泌・栄養・代謝系

一般目標: 内分泌・代謝系の構成と機能を理解し、主な内分泌・代謝疾患の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。

(1) 構造と機能

到達目標:

- 1) ホルモンを構造から分類し作用機序を説明できる。
- 2) ホルモン分泌の調節機構を概説できる。
- 3) 各内分泌器官の位置を図示し、そこから分泌されるホルモンを列挙できる。
- 4) 視床下部ホルモン・下垂体ホルモンの名称、作用と相互関係を説明できる。
- 5) 甲状腺と副甲状腺(上皮小体)から分泌されるホルモンの作用と分泌調節機構を説明できる。
- 6) 副腎の構造と分泌されるホルモンの作用と分泌調節機構を説明できる。
- 7) 膵島から分泌されるホルモンの作用を説明できる。
- 8) 男性ホルモン・女性ホルモンの合成・代謝経路と作用を説明できる。